# 日本橋地域から始まる 新たな街づくりに向けて

# ~提言の概要紹介~

沓掛敏夫 国土交通省 道路局 道路経済調査室 課長補佐

# 1 はじめに

日本橋地域の街づくりの再生については、2001年3月、扇千景国土交通大臣(当時)から「日本橋は首都・東京の顔であり、国として取り組むべき課題である」、「首都高の高架に覆われた日本橋の景観を一新する」との発言を受け、翌4月に学識経験者からなる「東京都心における首都高速道路のあり方委員会」が設立され、日本橋上空の首都高速道路の移設に関する検討が始まった。その後、2003年3月には、扇大臣(当時)と石原東京都知事の参加のもと、日本橋創架400年記念パレードが開催され、日本橋の街づくりに関する意識が高まる中、同年8月には学識経験者と地元代表者からなる「日本橋みちと景観を考える懇談会」が設立され、街づくりと首都高移設についての具体的な議論が始まった。

このような背景のもと、昨年12月に小泉総理(当時)が、伊藤滋早稲田大学特命教授、奥田碩(社)日本経済団体連合会会長(当時)、中村英夫武蔵工業大学学長、三浦朱門日本芸術院院長の4人の有識者を官邸にまねき、日本橋上空に空を取り戻すことについて検討を依頼された。これを受け、上記4名の有識者からなる「日本橋川に空を取り戻す会(略称:日本橋みち会議)」が設立され、日本橋地域の再生、新たな街づくり手法について、5回にわたる積極的な議論を行い、2006年9月15日に提言書をとりまとめ、総理に提言した。

本稿では、我が国の21世紀の新しい街づくりのビジ

ョンとも言える、「日本橋川に空を取り戻す会」の提言の概要を紹介する。

# 2 提言の概要

「日本橋川に空を取り戻す会」では、当初、首都高速道路の移設についての議論から始まったが、議論を重ねるうちに、首都高速道路だけの問題ではなく、これまでの我が国における経済効率優先の街づくりから、世界に誇る品格ある上級な街づくりへの転換が必要であり、街・川・道の一体整備による街づくりを議論することとなった。

こうしたことから、本提言では、我が国の21世紀の新しい街づくりのビジョンを示し、その新しい街づくりの起点として、地域の文化と伝統を数百年に亘り継承する日本橋地域から先駆的な都市づくりの手法を示している。

#### 2-1. 日本橋プロジェクトの意義

日本橋プロジェクトの意義として、提言では、効率重 視より品格ある国づくりへの象徴的なプロジェクトであ るとして、①これまでの効率優先の街づくりの数十年の 問題点を指摘し、②これからの街づくりとして「品格の ある上級な街づくり」が重要であると述べ、また、③地 震災害に対する安全性向上の必要性を示し、最後に、④ 日本橋からこのプロジェクトを行う理由(全国の街づく りの起点)を示している。以下に概要を示す。

## 首都高速道路の工事により水辺空間が消失 (首都高速道路の工事による変化<旧築地川>)







出典:首都高速道路二十年史

### 首都高速道路が上空を覆う日本橋



### 阪神高速道路が上空を覆う難波橋(大阪市)



### ① 効率優先の街づくりの数十年

効率優先で進められた街づくりによって水辺空間が失われ、高速道路に公共空間が覆われ、都市の景観や快適さを損ない、魅力を欠いた都市が全国に出現している。

### ② これからの街づくり~品格のある上級な街へ~

経済的な豊かさを実現した我が国の都市にいま求められるのは、美しく、快適で、安全な街づくりである。国 民が誇りを感じ、国外からもあこがれと敬意をもって見られる街づくりへと転換することが期待される。

### ③ 地震災害に対する安全性の向上

将来、首都圏で大地震が予想され、優先度の高い日本 橋地域から対策を行う。また、併せて当地区にオープン スペースを創出し、日本橋川の舟運を確保することは、 緊急的救援活動にも有効である。

### ④ 全国の街づくりの起点

日本橋は五街道の起点が置かれ、江戸文化が発祥し、 金融(金座)が興り、高札場から情報が発信された、いわば「はじまり」の地である。加えて地元では、街を良く

## ライン河沿いの道路の地下化と大型車規制により 水辺空間を再生

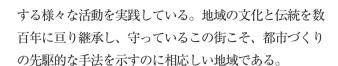
ドイツ:デュッセルドルフ (2002年頃)



(1989年)



# 日本橋地域再生事業の展望



# 2-2. プロジェクトの具体的な方向

プロジェクトの具体的な方向では、街・川・道の一体 的整備と地域の街づくりが先行した民間主導の都市再生 を基本方針とし、街・川・道のそれぞれの方針を示して いる。以下に概要を示す。

# ① 日本橋地域の都市再生の基本方針

- ・街・川・道を一体整備し、潤いと賑わいある魅力的 な都市空間を創出する。
- ・地域の街づくりが先行し、それを受けて首都高速道 路の移設を促すという、民間主導の都市再生を基本とする。

# ② 街:歴史を活かした賑わい空間の再生と都市機能の 強化

地元の街づくり団体が作成した将来イメージや地元代

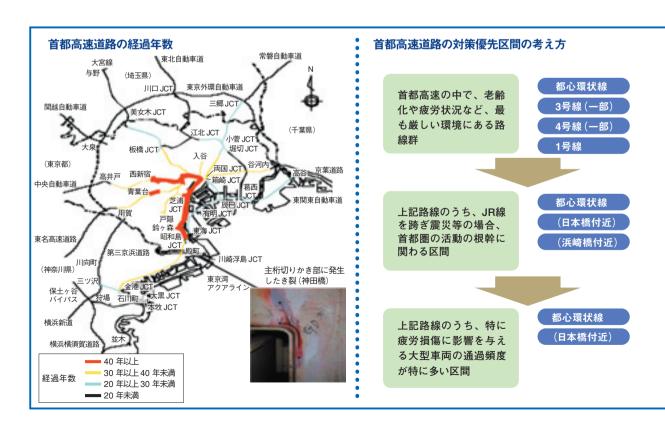
表との意見交換により、日本橋地域の将来の姿と街づくりから先行するための整備の基本的な進め方を示している。

### ③川:賑わいのある水辺空間の演出と水質の改善

今後の我が国の都市内河川再生へのマイルストーンと 位置づけ、日本橋川を覆っている首都高速道路の移設を 契機に魅力のある都心河川へ改修することを示している。

道:街づくりと一体となった首都高速道路の移設首都 高速道路の移設にあっては、撤去する案をはじめ、高架 または地下化して移設する案について、交通機能・景観・ 街づくり・建設費の観点から検討を行った。

検討の結果、撤去案は、一般街路や首都高速道路全体が大混雑し、首都圏の交通機能が麻痺する可能性が大きいこと、また、首都高速道路の移設空間として、深い地下案は交通の安全性と円滑化の観点から問題があることを考慮し、最終的には街づくりが可能となる浅い地下案を採用することとした。平面線形は周辺再開発事業や歴



## 青空を取り戻した日本橋地域の将来図



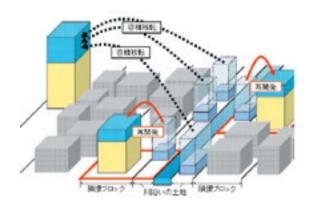
史的建造物、高速道路の接続等を考慮し、大手町地区では南側(右岸)、日本橋地区では北側(左岸)を通る南-北ルートを推奨した。

# 2-3. 日本橋プロジェクトの効果と 費用負担の考え方

本プロジェクトの効果は、道路利用者の便益は僅かであり、一方、沿道及び地域社会に対しては様々な便益を

# 軸重 10tf 以上の 10tf 閑散軸数マップ 日本橋 - 2000 SHEELE DECEMBER 1 — 5000万分~7000万分未進 ■ 3000万円未満 **2001年** 株本町大0000~町区1001 282 REN 煮が蒸 DES 浜崎橋 Incaesal Eem TRA 供用~H13年度までの累積。大型車等は疲労影響を加味して換算。 (資料)首都高速道路(株)資料

## 容積移転の整備イメージ



## 日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会が 作成した将来イメージ



河岸の復元・たまり 空間創出

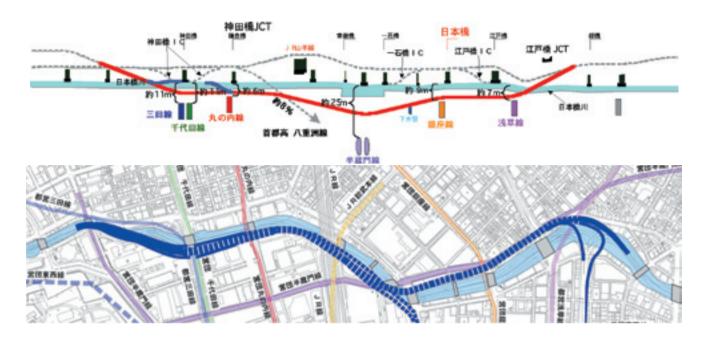
路地裏空間の再生



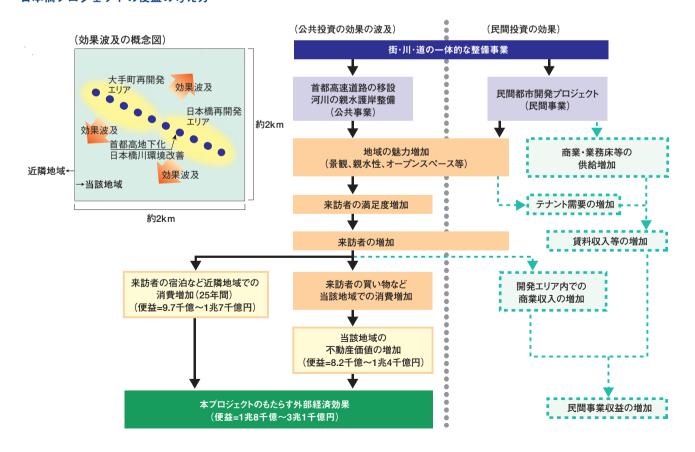
# 特集 日本橋

# 日本橋地域再生事業の展望

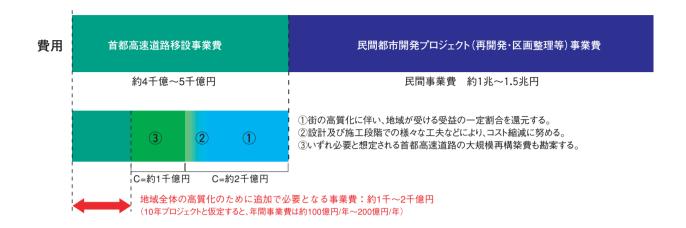
#### 推奨ルートの浅い地下案の縦断と平面図



# 日本橋プロジェクトの便益の考え方



#### 日本橋プロジェクトの費用負担の考え方



もたらす。このため、現行の評価手法ではこうした間接 効果が表現できないことから、ここでは、地域に与える 効果として、来訪者の宿泊など隣接地域での消費増加、 及び当該地域の不動産価値上昇分について試算を行った。

また、地下化した場合の概算事業費は、今後、詳細検討による変動が想定されるが、約4千~5千億円と試算した。費用負担にあたっては、地域が受ける受益の一定割合の還元、いずれ必要となる首都高速道路の大規模再構築費も勘案して追加で必要となる事業費を約1千~2千億円と試算した。

以上より、日本橋プロジェクトによる純便益を「新たに発生する便益B(当該地域の不動産価値の増加、来訪者の宿泊等近隣地域での消費増加(25年間)」と「新たに発生する費用C」から試算した結果、約1兆4千億円~2兆6千億円が見込まれると試算されている。

### 2-4. 日本橋プロジェクトの今後の取組み

日本橋プロジェクトの今後の取組みとして、①推進体制の構築、②関係する主体との協力、③具体的な取組みに向けての3つを示している。①推進体制の構築については、地元意向の集約と関係機関等との調整を担う街づくり協議会の設立とプロジェクトの推進体制の構築。②

関係する主体との協力については、国、東京都、中央区、 千代田区、首都高速道路株式会社との連携と相互の協力 体制の構築。③具体的な取組みに向けては、幅広いコン センサスを得つつ、各種制度(容積移転等)の設計やル ールづくりを行い、関係者の粘り強い努力と協力を必要 としている。

# 3 おわりに

「日本橋川に空を取り戻す」日本橋プロジェクトは、一地域の街づくりにとどまることなく、国土全体への波及効果をもたらす事業である。「世界で最も美しく魅力ある街をつくる」という目標は、日本橋地域の住民、都民はいうまでもなく、国民すべてに夢と希望、そして我が街への誇りと自信を養成することになると期待される。国民の理解と協力を得つつ、知恵と感性と技術を結集し、最大限の努力を傾注されることを切望する。なお、提言の本文、参考資料、提言抄は、「日本橋川に空を取り戻す会」のホームページ(http://www.nihonbashimichikaigi.jp/index.html)で公開しているので、是非、御一読頂ければ幸いである。

(くつかけ・としお)